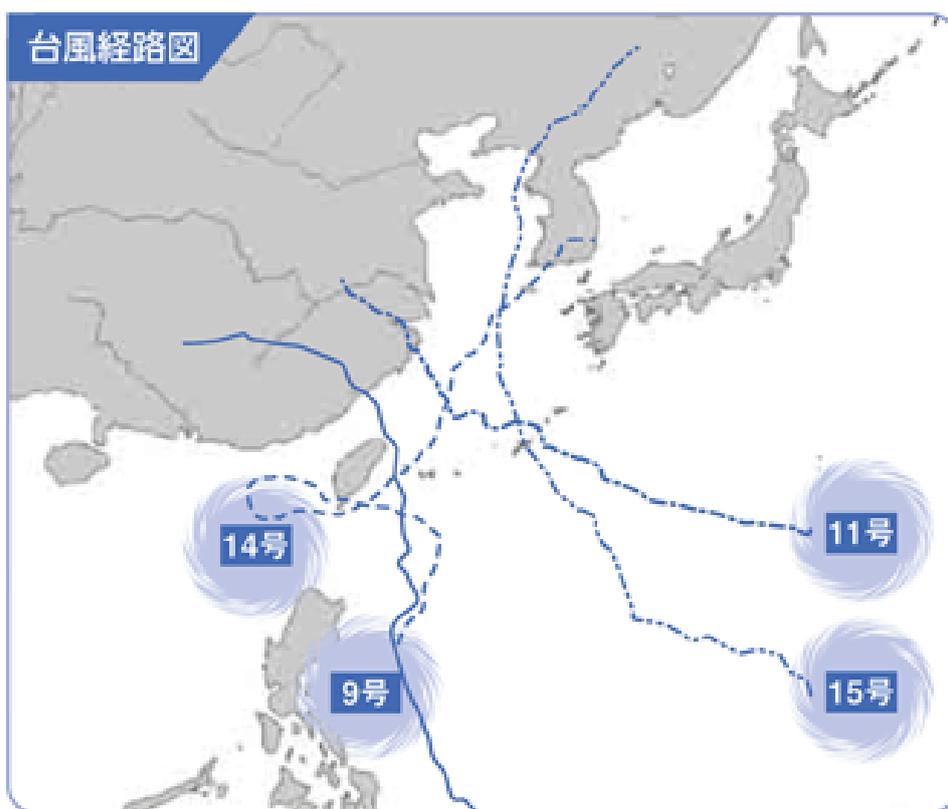


# 台風 14、15 号 続けて襲来！

## ～8 月に 4 個の台風～

8 月は、台風 9、11、14、15 号と計 4 個の台風が当社管内に接近し、県内各所に猛威をふるいました。当社においても台風の襲来に備え、管内の巡視を行うとともに、要員の配置や資機材の準備に努め、被害を受けた設備の復旧作業では、関係会社、協力会社等の協力のもと、総力をあげて取り組みました。



### 台風 9 号

8 月 1 日(水)15 時には西表島の南南西の海上にあり、中心気圧 960hPa に達し、勢力を維持したまま、進路を北西から西に変えてゆっくりした速さで与那国島の南海上を進みました。その後、勢力を弱めながら台湾の東海上に達した時点で複雑な動きをし、その後進路を北寄りに変えました。

最大瞬間風速は、与那国島で 45.3m/s、石垣島で 30.8m/s、西表島で 30.7m/s を観測しました。

### 設備被害状況

電線断線[高圧] 3 条・スパン(与那国)

## 台風 11 号

8月4日(土)21時頃に大東島地方へ最も接近し、中心気圧985hPa、中心付近の最大風速20m/sでした。

台風はその後、徐々に勢力を強めながら、6日3時には久米島の北約90kmで中心気圧970hPa、中心付近の最大風速30m/sで、半径70kmの暴風域を持つようになりました。

6日15時には暴風半径を190kmまで広げ、次第に沖縄本島地方から遠ざかりました。

### 設備被害状況

架空地線断線	2条・スパン
高圧バインド外れ	1箇所

## 台風 14 号

八重山地方に2回接近。8月22日(水)から24日(金)にかけて、八重山地方を長時間強風域に巻き込みながら南海上を西に進み、2回目の接近では、速度が速く急激に風が強まり、28日(火)から29日(水)にかけて八重山地方を暴風域に巻き込みながら南西海上を北東に進み、東シナ海に達しました。

石垣島では、28日17時頃から19時頃まで、西表島は28日15時頃から21時頃まで、与那国島は28日13時頃から21時頃まで暴風域に入りました。

最大瞬間風速は、石垣島で30.5m/s、西表島で34.5m/sを観測しました。

### 設備被害状況

高圧カットアウト	1箇所
高圧ピン碍子破損	3箇所

## 台風 15 号

8 月 25 日(土)大型で非常に強い勢力(中心気圧 910hPa、中心付近最大風速 50m/s)で大東島地方、沖縄本島地方に接近し、ゆっくりとした速さで勢力を維持しながら 27 日(月)に沖縄本島を通過し、東シナ海を北北西に進みました。

沖縄気象台では観測史上 1 位の最大瞬間風速 73.6m/s に匹敵する記録的な暴風が吹く見込みのため、最大級の警戒を呼びかけていました。

最大瞬間風速は、南大東島で 40.1m/s、伊是名島で 41.5m/s、名護で 38.1m/s、那覇で 38.5m/s を観測しました。

今回、被害の多かった名護支店においては、他支店からも応援要員を派遣し早期の復旧に努めました。最後の停電地域となった水納島は、台風の去った翌朝(28 日(火))に船をチャーターして資機材等を運搬、復旧にあたり同日 11 時 19 分をもって高圧配電線路の復旧が完了しました。

また、お客さまからの電話問い合わせについては、コールセンターの要員に加え、175 人体制で対応にあたり、4,038 件の着信数に対し、3,855 件(応答率 95.5%)に回答することができました。

### 設備被害状況

電柱破損(折損、倒壊)	2 本
電線断線[高圧]	26 条・スパン
電線断線[低圧]	12 条・スパン
柱上変圧器破損	13 台

### 停電状況

最大時停電戸数	19.5 千戸(8/27 5:00)
---------	--------------------

### 新設の対策本部で対応

これまでの災害対策本部は本店本館の特別会議室など、台風接近の都度、本館内に設営していましたが、台風 15 号では初めて別館 5 階の常設災害対策本部運営スペースでの対応を行いました。



対策本部の様子